

翻訳絵本のことば

福本友美子

ここで取り上げる翻訳絵本とは、外国語で書かれた絵本を日本語に翻訳したものを指します。外国語の絵本が日本語の絵本として生まれかわるまでの過程で、翻訳者は何を考え、どのような手順で翻訳作業を進めるのでしょうか。絵本の翻訳には、読み物とはまた違った点がある点があります。それは、子どもがどのように絵本を読んでいくのかを考えることにもつながっています。ここでは、私が今までに翻訳してきた絵本のなかから具体例をあげながら、翻訳絵本のことばについて考えていきます。

1. 作品の世界にひたる

原文を読みこむ

絵を読みこむ

1冊の絵本に表現された世界の全体を感じとる

2. 聞こえてくることば

登場人物の個性を読みとる

聞こえてくることばに耳をかたむける

血の通った「人物」としての表現

3. 対象年齢を考える

どの年齢層に読んでほしい絵本か

発達段階に合わせた文法、語彙、漢字を選ぶ

読み聞かせに向く絵本か、ひとり読みに向く絵本か

4. 流れと間合い

絵の流れに沿ったことば

ページをめくる間合いを考える

5. 日本語の特徴を生かす

言語には文化の違いがある
日本語として自然な文章に
擬態語、擬音語をとり入れる

6. 絵本は声に出して読まれるもの

声に出して読みやすく、耳で聞いてこちよく
ことばの響きやリズムを大切にする

7. デザインに合わせる

絵と文が一体となって1つのデザインをつくる
デザインに合わせたレイアウト

8. タイトルの工夫

日本の子どもたちにわかりやすいタイトルとは